

# モエンサイディング-M14 地域限定

## モエンサイディング-M認定番号・物性表

国土交通大臣認定番号

区分	部位	認定番号
45分準耐火構造	外壁	QF045BE-9226
	間仕切壁	QF045BP-9070
	柱	QF045CN-9032
防火構造	木造下地	PC030BE-9201

・下地スパンは、500mm以内です。

鉄骨下地にはモエンサイディング-M・Wは使用できません。  
(ただし、弊社指定木脚縁仕様で使用可能な施工法があります。)

モエンサイディング-M: 国土交通大臣認定準不燃材料 QM-0707  
不燃材料 NM-2390※

基材名称: パルプ繊維混入セメント板

項目	モエンサイディング-M塗装品	備考
比重(乾乾)	1.01	平均値
含水率	20%以下	JIS A 5422に準ずる
曲げ破壊荷重(N)	785以上	JIS A 5422に準ずる
耐衝撃性	貫通亀裂無し	JIS A 5422に準ずる
耐透水性	10mm以下	JIS A 5422に準ずる
熱伝導率(W/(m・K))	0.19	JIS A 1412(平均値)
音響透過損失(dB)	29(500Hz)	JIS A 1416 単体・釘打ち施工
	33(1000Hz)	

※無塗装品(シーラー品)のフラット(MDX100D、MDX100Y、MDX100、MCX100、MHX100)は、不燃材料です。

## 1 液低汚染補修液の特長

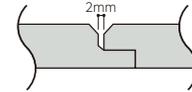
- 優れた作業性  
開缶後、攪拌してそのままご使用いただけるタイプの補修液です。  
塗料粘度の安定時間が長いので、作業性に優れます。
- 優れた隠蔽性  
塗膜の隠蔽性が良く、特に淡色系の色合いで効果を発揮します。
- 優れた耐汚染性  
乾燥後は汚れが表面に付着し難く、塗装表面を美しく保ちます。

## 1 液低汚染補修液の注意事項

- 付属の取扱説明書をよく読み、正しい手順でご使用ください。
- 品番や気候によって使用可能時間に差があります。
- 釘頭の補修は最小限に留め、広範囲には塗り広げないでください。大きな傷などがある場合は、補修液による補修ではなく張り替えてください。補修液の色艶は外壁とは完全に一致していませんので、補修跡が目立ち、外観を損ないます。
- マイクロガード機能とは異なります。

## 注 意 事 項

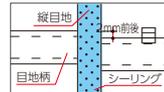
- 縦張り品の目地部の仕上がりについて  
倍幅縦張り品には実形状が2種類あるためそれらを併用された場合に、目地の見え方が異なる部分がありますのでご注意ください。



〔上記対象品〕

- シャトーウォール調(3R)
- コンクリート打ちっ放し(3R)

- 化粧目地の通りについて  
目地寸法精度は±1.5mmですのでジョイント部で地柄が2mm前後ズレることがあります。施工時の目地通りには、ご注意ください。
- 左右接合部、出入隅部、開口部左右部には純正のハットジョイナー・片ハットジョイナーを必ずご使用ください。
- モエンサイディングは正しい施工を行うことにより一次防水の機能がありますが、強風時には雨水が裏面に浸入することが考えられます。したがって二次防水として防水紙・防水テープの施工が絶対に必要です。
- モエンサイディングの釘打ち位置は、端部および周辺部において端より20mm～35mmの位置としてください。なお、手打ちの場合は端部に必ず先孔をあけて打ち、その他の部分においては施工時の衝撃、モエンの表面への影響(欠けの発生など)を避けるため、先孔をあけて釘を打つことをおすすめします。
- マスキングテープの品種・施工法などにより、モエンサイディングの塗膜に剥離を引き起こす場合がありますので、付着力の強いマスキングテープを使用しないでください。



### モエンサイディング-Mの内装使用について

モエンサイディングの建築物の用途・対象製品について条件がございます。  
最寄りの弊社営業所またはお客様さま相談室までお問い合わせください。